

Principia 到達目標

前期の Prin I では以下のようなポイントを生徒に身に着けさせたい力としてイメージしています。

以下のポイントを踏まえて指導していなければと思います。

修正、変更があれば再度連絡いたします。

テーマ設定について

以下のようなテーマを自身の興味関心などから設定できるようになることを目標とします。

A：問い合わせに抽象的な要素がなく、客観性や具体性がある

B：問い合わせに客観性や具体性があるが、一部抽象的であったり、主観的であったりする。

C：問い合わせが抽象的である

問い合わせの設定について(上で設定したテーマとは異なるテーマを用いて主に活動します。)

以下のチェックポイントを満たせるような問い合わせを研究テーマから設定できるようになることを目標とします。

言葉の定義がはっきりしているか

データや事例、先行研究をうまく活用できているか

多面的に検証できているか、条件は明確か

答えがすぐにみつかるようなものではないか

調査、実験の見通しがたっているか

A：5個すべてを満たしている、B：3個以上満たしている、C：2個以下しか満たしていない

問い合わせの検証と結果の分析について

以下のように仮説の設定方法を理解して考えることができるようになることを目標とします。

A：検証方法を踏まえて、先行研究や事例から根拠を持って複数の仮説を設定できる。

B：先行研究や事例から根拠を持って検証可能な仮説を設定できる。

C：先行研究や事例から根拠を持って仮説を設定できる。

結果の検証について

以下のチェックポイントを満たせるような結果の分析ができるようになることを目標とします。

結果から理論を組み立てて考察することができる

結果から意味を見出すことができる

結果から問い合わせの答えを見出すことができている

結果に対する新たな問い合わせを考えることができる